NIE実践報告

1．タイトル：☆古典教材をきっかけに現代社会に目を向ける

2．学校名

宮崎県立高千穂高等学校

3．実践者名（代表者名）

沼田　悦子

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

古典　3年普通科教養クラス38人

6．単元（本時の学習課題）名

思想(人間論)　孟子「不忍人之心」と荀子「人之性悪」

7．目標（狙い）

「性善説」「性悪説」の内容を理解したうえで、現代の事象と関連させながら、人間について考えていく。

8．評価の視点

孟子の性善説、荀子の性悪説を理解したうえで、新聞記事を見て、自分はどちらの立場を取るか、本文の内容と関連づけながら説明することができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

中国の思想　8時間。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1.「不忍人之心」音読(1時間)。
2.「人之性悪」音読(1時間)。
3.内容読解(2時間)。
4.人間の本性を考える(1時間)。
　秋葉原無差別殺傷事件の報道写真からその写真に写っている人の行動を分析したうえで、人間の本性が「善」であると思うか、「悪」であると思うか、自分の意見をまとめる。
5.自分の立場の根拠となる社会の出来事を探す(2時間)
　前時で選んだ「善」「悪」の立場を裏付ける根拠となる新聞記事を探し出し、自分の意見をまとめる。
6.他者と意見交換を行う(1時間)。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

日ごろは社会情勢を知る手段としてテレビやインターネットを用いる生徒たちが多く、新聞に触れる機会が少ない生徒たちであるが、自分の意見の根拠となる新聞記事を探す時間は真剣に記事を読んでいた。新聞を読みながら、世の中ではこんなに様々な動きがあるのかという気づきがあったようだ。

12．成果と課題

生徒たちに社会に目を向けて欲しいとの思いから、学級通信等を用いて新聞記事の紹介をしてきた。今回は古典の学習内容が自分自身にも関わる内容であることに気づかせるということを意図して授業を行った。日ごろは新聞を開く生徒は少ないのであるが、この授業の時には様々な記事を真剣に読み比べる生徒の姿が見られた。また、宮崎日日新聞社の方が取材に来られ、新聞の役割について話をして下さったことで新聞への興味が深まったように思う。